

令和6年能登半島地震での活動を振り返る

メッセージ

令和6年1月1日の能登半島地震から、私たちは「地域住民」「作業療法士」「病院・施設職員」「家族の一員」と様々な役割や立場から支援を行ってきました。発災から約8か月が経過した本学会において、今回の災害支援についてJRAT活動の説明をいただき、1.5次避難所と被災病院から発災後の状況と今後の課題について共有し、能登をはじめとした石川県全体の復興へ取り組む機会や、今後も起きうる災害に対しての考えるきっかけの場となれば幸いです。

演者

<テーマ>JRAT 活動について

吉田 里沙 氏 (芳珠記念病院)

<テーマ>1.5次避難所での活動について

平川 佳奈 氏 (富山県リハビリテーションセンター)

<テーマ>被災病院の活動について

増田 司 氏 (町立富来病院)

沖崎 孝裕 氏 (市立輪島病院)

司会 市川翔悟 (公立河北中央病院)